



第142回例会 1962.4.3 (火) 曇

齋藤求画伯

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次回例会
4月10日 (火)

村田君送別会

○出席報告

本日の出席数	38名	届出	佐藤(貞)君、佐藤(伊)君、佐藤(寅)君、黒崎君、金井(勝)君
出席率	79.17%	無届	大野君、菅原君、長谷川君、飯白君、板垣君

前回の修正出席数	43名	メンバー	早坂君 酒田R.C 武田君 〃 金井(勝)君 東京銀座R.C 海藤君 新庄R.C
修正出席率	89.58%		

○司会 三浦会長

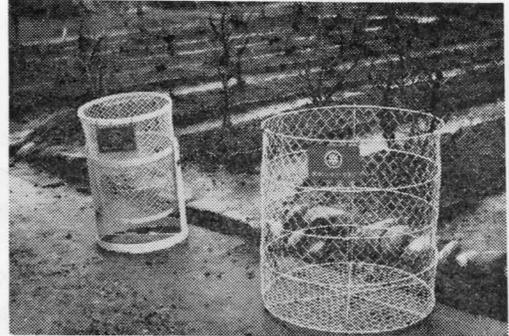
○ビジター 荒井清君 酒田R.C
高野豊一君 〃

○ゲスト 成沢米三君 清川神社宮司

○連絡事項

- 名誉会員松木鶴岡市長今春以来入院加療して居られますのでクラブより御見舞を差上げることに致しました。
- 村田君此度山形へ御栄転になられることになられ切角お近づき出来たのに、又後任は酒田の高野君が兼務することになりましたので後程ご挨拶頂きます。
- 社会奉仕委員会にて製作中の「護美箱」7ヶ出来上り、表札を今間君より寄贈頂き近日中に鶴岡公園にお見栄致します。又演壇も佐藤(昇)君の好意で立派に出来ましたことを披露致します。
- 先般大曲R.Cの国際親善展に出品して下さいました中学生に送る記念切手用意しましたから国際委員会で

贈って下さい。



○アッセンブリーを来る14日(土)に行いますから、その前に委員会も準備して下さい。

○幹事報告

○誕生祝

中台君、飯白君、小花春子様、阿部悦子様御誕生御目出度う御座います。夫々の方々に記念品を贈呈いたしました。

○会報到着 東京R.C

○チャーターナイト御案内

所沢R.C 5月25日(金) 於 所沢市市民会館
登録 A.M11.00~12.00 ¥2,500

○その他

秋田県内R.C総合誌「ロータリー秋田」が幹事の手許に贈られて来ました。

○卓話 「清川八郎の人となりと遺物について」

清川神社宮司 成沢米三氏

郷土の生んだ維新の大業に参画した歴史的人物、志士の間に主動的な異彩の活躍をした美傑、清川八郎の人となり遺物につき成沢氏より卓話あつた。

非常に有意義な話であり、又庄内と云う徳川譜代藩として公儀に対し秘して来た事でもあるので、後日稿

を更めて御知らせする。成沢氏にも稿をお願いいたしますから御期待下さい。



○村田、高野両君の御挨拶村田君よりにはわか転任になりますので、今迄の好意に対し謝辞あつて兼務される高田君の照会と本人より挨拶あつた。

○親睦委員酒田との親睦を一層深める為酒田R.Cの例会日には親睦委員で自動車で御案内して呉れることになりましたから、どしどしメークされる方委員長へ連絡して下さい。(TEL2,435)

玉蜀黍の種子

或る農家が、彼の生産した玉蜀黍に沢山の青リボンをかちえた。その最良種子を隣り近所に分配する習慣をつけました。「どうしてあなたはそんなことをすることが出来るのですか」と彼にたずねられました。「あなたの隣人は、共進会であなとと競走しておるではありませんか。それでもあなたは、あなたの入賞種子で彼等を援助しなければならぬのですか」彼の答えはこうでした。「なんとそれは簡単なことです。若し私が良い玉蜀黍を栽培しようと思えば、私の隣人もまた良い玉蜀黍を栽培しようと思えばなりません。

風は成熟した花粉をとつて畑から畑へと吹き散らします。若しお隣りが不良の玉蜀黍を栽培すれば、私自身のものの品質が被害を受けます。若し私が良い玉蜀黍を栽培しようと思えば、私は彼等もまた良い玉蜀黍を栽培しようと思えばなりません」

——奉仕の冒険より——

(職業奉仕委員会)

四つのテストの話 ハーバート・J・テイラー (前回につづく)

このように大きい障壁に直面し、不利な条件の下にあつたわれわれは、競争相手の持ち得ない何もかをも掴まねばならないと感じた。その何もかものは、社員の人格と信頼とサービス精神でなければならぬとの結論に達した。第一に社員の選択に細かい注意を払い、第二に男女社員の質が会社と共に向上するように指導しなければならぬとの方針を定めた。

われわれは「正しいものには力がある」と信じ、常に正しくあることに最善をつくすことを決心した。われわれの事業には他の幾十の事業と同様に道義上の掟があつた——しかしその掟は冗長で暗記は不可能といつてよかつたので、全く非実用的であつた。われわれはまた、新しいテストは、人々に何をなすべきかを訓えるのではなく、企てられた計画や方針や計算書または行動が正しいか間違っているかについて知ることを可能にするような疑問を起さすものであるべきだと信じた。

「四つのテスト」になつて短時間質問を考へ出すまでには、相当の期間が費された。その「四つのテスト」というのは次のようなものである——

1. 真実であるか
2. 関係者のすべてに公平か
3. 好意を生み友情をもたらすか
4. 関係者のすべてに有益か

私はこのちよつとしたテストを机上のガラス板の下において、会社の者には誰にも話さず数日自分で試すことにした。そして非常につかりするような経験をなめた机上に持ち出された事柄を「これは真実か」という第一の質問でテストしたところが私は最初の日に「テスト」をくずすの中に捨てたくなつた。私はそれまで如何に度々真実から遠ざかり、わが社の計算書や手紙や広告に如何に多くの偽りがあつたかを意識していなかつたのである。

私は六十日間の絶えざる忠実な努力によつて「四つのテスト」を実行し、その大きな価値をすつかり信じ、同時に慢心の鼻を強く折られ、また、この会社の社長として自分の行為につかりさせられたこともあつた。しかし私は「四つのテスト」を実行することに十分の進境をみせ、同僚の幾人かにはこのことについて話す資格ができたと思つた。私は四名の部長にこのことについて説明した。その四名の宗教について述べてみるのも興味があるだろう。一人はコーマ旧教信者、一人はクリスチャンサイエンス信者、第三番目はオーソドックスのユダヤ人で他の一人は長老教会派の人であつた。

……次回掲載す。

○ニコニコ箱

谷口君 商売繁栄のため
武田君 御繁栄お目出度う
斎藤(栄)君

中台君 }
小花君 } 御本人、奥様御誕生お目出度う御座います
阿部君 }

小池君 うれしく感謝して、バレー招待受けて
高橋君 早退して
張君 今月も100%のよろこび
佐藤(仁)君 「清川八郎」卓話紹介出来て

○本日の献立

刺身 平目
天ぷら 鱈、えび、茄子、推茸
味噌汁 〇鮎、みつば